

「早川・芦安連絡道路」説明会資料

平成26年3月17日 山梨県道路整備課
於：早川町役場

○経緯

- ・昭和の時代からの構想。地元にとっては、長年の悲願。
- ・平成13年「南アルプス周遊自動車道路整備促進期成同盟会」を設立。
設立当時 峡南、峡西の11町村。(合併後1市3町)
- ・中部横断自動車道や国道52号、アクセス道路などは、一定の整備が進んでいる。
- ・「早川・芦安連絡道路」は、規模の大きさなどから、財源の確保が一番の課題。
- ・リニア発生土を連絡道路のトンネル前後で、道路の盛土材料として活用。コスト縮減。
- ・JR東海から一定の負担を得られる見込み(今後協議)であることから、整備を決断。

○想定規模

- ・全体延長 約4~5km
(内トンネルL=3~4 km 橋梁L=150~200m)
- ・事業費 約70~80億円

○整備効果

【観光振興】

- ・南アルプスの通年周遊観光
- ・中部横断自動車道開通による相乗効果(県全体)
- ・広河原の利用期間拡大

【防災対策】

- ・安定した交通ルートの確保
- ・早川・芦安両地域の連携
(孤立集落の解消、緊急物資の輸送・救急医療体制など)

【自然保護・自然学習】

- ・エコパーク登録による自然保護活動、調査研究に活用
- ・自然、環境、登山などの体験学習に活用

○事業実施のメリット

【地 元】

- ・長年の悲願の実現
- ・上記整備効果の享受

【JR東海】

- ・発生土処理場の確保
- ・リニア建設工事の進捗

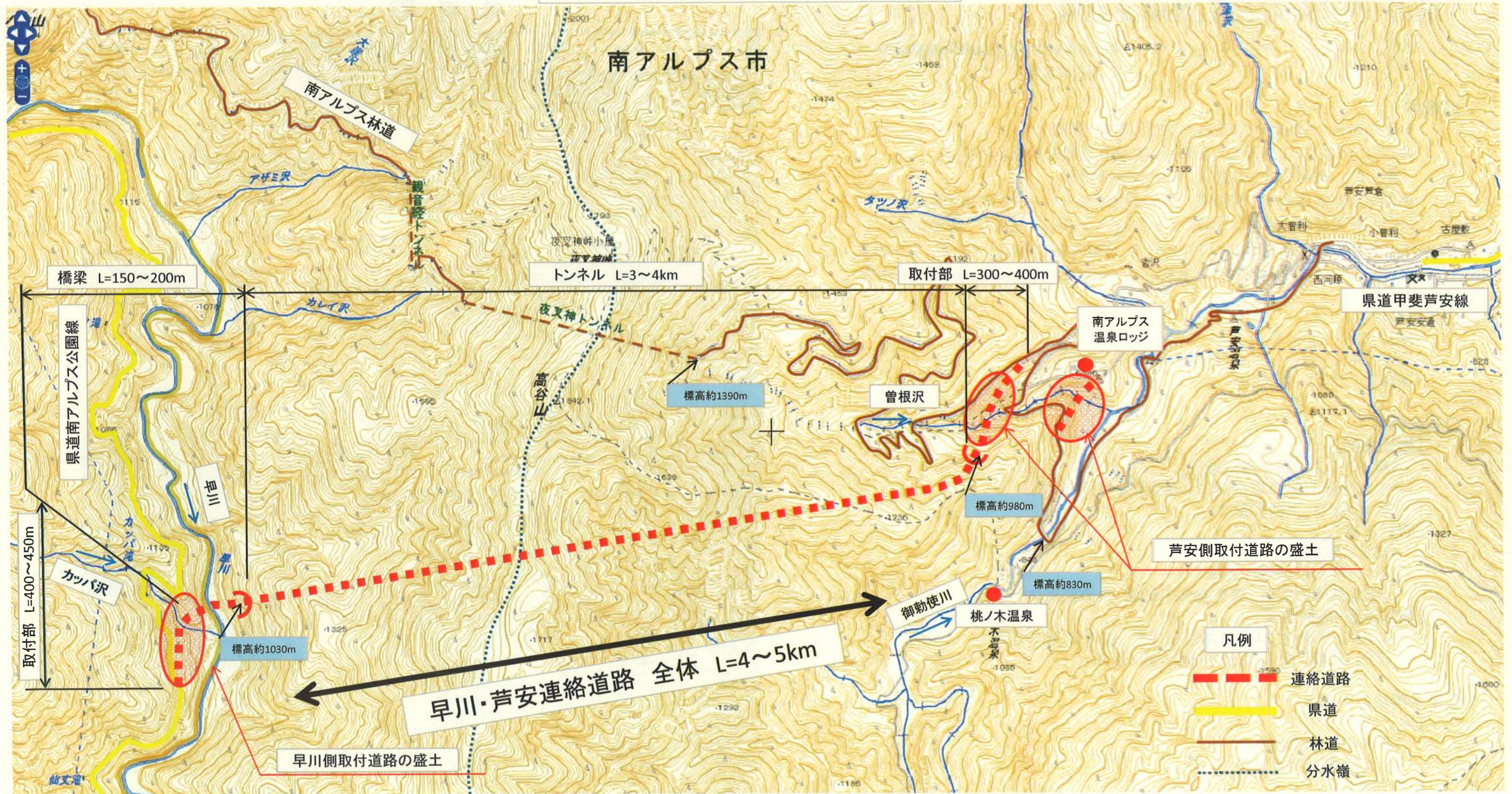
【 県 】

- ・建設コストの縮減
- ・財源の補填(JR東海からの負担を予定 今後協議)

参考図



早川・芦安連絡道路 説明図



早川・芦安連絡道路概要

- ・早川町奈良田カッパ沢付近～南アルプス市芦安芦倉曾根沢付近
- ・延長 4～5km(内トンネル3～4km、橋梁150～200m)
- ・幅員 6.5～7.0m 2車線
- ・盛土工 3箇所(早川側1箇所、芦安側2箇所)